



はまなす季刊

医療法人はまなすHP ▶▶▶ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人
はまなす **篠路はまなすクリニック**

〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL (011) 776-3030・FAX (011) 776-3001

医療法人
はまなす **はまなす医院**

〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL (0133) 64-6622・FAX (0133) 64-6555



「ダシカゼ」とともに

理事長 工藤 岳秋

石狩では1年を通じて、比較的強い風が吹きます。夏は気温の上昇を抑え、海から適度な湿気を優しく運んでくれますが、冬は地吹雪で視界が遮られ、自然の厳しさを思い知らされます。

古くから漁業が盛んな石狩において気象条件は生死に関わる問題でした。石狩市教育委員会が発行する『石狩ファイル』によれば、風は海から陸に吹く「オキカゼ」系と陸から海に吹く「ヤマセ」系に大別して呼ばれていたとのこと。ヤマセは天候不良をもたらす風であり、冬から春にかけての強風はほとんどがこのヤマセです。これとは別に、同じ陸から海に吹く風でも、帆船が沖に出るのに都合の良い風は「ダシカゼ」と呼びます。

はまなす医院は22年にわたってこれらの風に育まれてきました。順風満帆という言葉は必ずしも当てはまらず横風、逆風を感じたこともありましたが、花畔の地に根付いて花を咲かせ実を殖やせるよう、力を尽くしてきました。

そのはまなす医院では今春、透析室の拡張と再有床化を目的とした増築に着手しました。新たな出発にあたり「ダシカゼ」が吹くよう、姿勢を正し準備を進めていきたいと思えます。

篠路はまなすクリニック 1年を振り返る

理事長 篠路はまなすクリニック院長

工藤 岳秋



篠路はまなすクリニックに外来・入院部門が開設されてからの1年を振り返ってみたいと思います。

1. 消化器診療

問診・視触診の後、必要に応じて内視鏡・超音波検査・CT検査等を行います。胃痛が実は胆石発作だったり、風邪のはずが虫垂炎だったり、ということもあるので慎重に身体所見を取るよう心がけています。

上部消化管内視鏡（胃カメラ）は初診でも積極的にを行います。細径ファイバーによる経鼻内視鏡も可能です。下部消化管内視鏡（大腸カメラ）に抵抗を感じる方には大腸CT検査をお勧めしています。昨年8名の患者さんに適用しました。ただしポリプなどが疑われた場合は改めて内視鏡検査を受ける必要があります。

外科手術は26件（腹腔鏡2件）でした。麻酔医（工藤謙三（会長）が常勤しているため曜日に関わらず全身麻酔が実施可能です。

今年度も丁寧な診療を心がけ、診断から手術までをこなす「お腹

のかかりつけ医」を目指します。

2. 腎疾患および透析

患者さんが持参される紹介状の大半は、腎臓内科専門医である工藤立史副理事長宛です。保存期腎不全の患者さんとともに、透析導入件数が増加しました。バスキュラーアクセス関連手術は73件、経皮的血管拡張術（PTA）は130件でした。

この4月から北海道大学第2内科腎臓グループの医師派遣も受けており、今後は腹膜透析にも積極的に取り組んでいきます。

3. 診療連携

はまなす医院（石狩）の患者さんは最優先で検査・治療を行っています。また近隣の診療所からの紹介患者さんについては療養環境の維持が患者さんの利益に繋がると考え、当院での診療の後、可能な限り紹介元に戻っていただいています。診療情報を詳細に作成するよう努力しています。

新年度もさらに専門性を発揮し、地域医療に貢献してまいります。

1年を振り返って

副理事長 はまなす医院院長

工藤 立史



2015年4月よりはまなす医院は無床診療所として再スタートを切りました。当時あった入院病床が篠路へ移り、スタッフの人数も大幅に減ったため、少々寂しく感じたことでもあります。近隣の医療機関からのご紹介により透析患者数は1年間で着実に増え、今では50名を超えています。また保存期腎不全や慢性腎炎の外来患者さんも多数通院するようになりました。

当院では透析患者数の増加に合わせ施設を増改築する工事を進めています。結果として透析ベッドは現在より20床以上増え、合計で約50床になります。そして新規にリハビリ施設を開設して、多くの患者さんに利用していただくと考えておりま

す。さらに、築23年になる既存の建物についても、増築に引き続いて改築工事を行い、少しでも快適な環境を整えて医療を提供してまいります。

先頃、熊本県と大分県で大きな地震に見舞われ、死者、負傷者が多数発生しました。断水、停電のた

め稼働不能となった透析施設もあり、周辺の地域で透析を余儀なくされた透析患者さんが大勢いらっしゃいます。とりわけ、熊本県は統計調査によると10万人あたりの透析患者数が全国一多く、被災地では透析ができない患者さんが多数いたことが推察されます。これまでも日本では度々大規模な地震を経験し、その都度透析施設としての災害対策も見直されていますが、まだまだ不十分です。当院も他人事ではなく、施設を増築するにあたり、安全面についても一層配慮していかなくてはなりません。

国勢調査によると石狩市は人口減少傾向ですが、石狩湾新港地域を中心に企業が増加し活性化しており、それに伴って医療のニーズも高まってくるのが考えられます。札幌圏の北端にあたる当地で今後とも微力ながら地域医療に貢献できるよう邁進していきますので、よろしくお願いたします。

1年を振り返って

はまなす医院
看護師長

田宮真奈美



はまなす医院の病棟が篠路に移り一年が過ぎました。

にぎやかだった2階がひっそりして当初は取り残されたような淋しさを感じたものでした。

朝、出勤するとそんな静かな中でふだんあまり気づくことのできない部署の「音」を聞くことができます。

例えば、ドライバーさんやお掃除、厨房のスタッフが早くから働いている音です。言わば病院の裏方さんたちと言ってもいいのですが、それぞれが大切な役割をもっています。そして、患者さまひとりひとりの声を伝えてくれたり、よりよい環境にするためのアドバイスをくれたり、そのたびに私は勇気づけられてきました。

患者さまの声に耳を傾け、どうしたらよくなるかを考え努力する姿勢が信頼につながっていきます。

色々な職種のスタッフがこの病院を支えているんだと感じ、私自身まわりに支えられていることを実感

します。

透析のことも詳しく知らず、篠路はまなすクリニックにお世話になったのが8年前です。まわりにいるたくさんの人達に助けられました。

患者さんと真剣に向き合いかわっていく中で教えてもらうことがたくさんありました。その後、はまなす医院に移り手術や外来も経験でき、はまなすが地域の皆様から必要とされていることを強く感じました。

今後は、増改築をしてよりよい医療を提供できると確信しています。スタッフみんなの力を合わせて、中身も充実した安全で快適な環境を患者さまにお届けできるよう努力していきたい、今、心からそう思っています。



透析患者 監視装置について

はまなす医院
臨床工学士長

佐藤 智久



透析室の各ベッドサイドに置かれている透析患者監視装置には、ダイアライザーという人工腎臓が設置されており、患者様から送られてきた血液は、このダイアライザーを介して透析が行われています。

患者監視装置が行っている機能を説明いたします。

1. 監視装置より1分間に500mlの透析液を正確にダイアライザーに供給する事により、血液中に溜まった老廃物を目標値まで透析液中に移行させ、再び監視装置から排出しています。
2. 身体に溜まった不要な水分は、透析液供給量と排液量を正確に調整した中で、指定した量を正確に除水しています。
3. 監視装置のモニターには、透析経過が連続的に表示され、透析の施行経過、及び装置内部機器の作動状況、設定通りに装置が作動しているか、予定通り除水が経過されているか、また血液の循環状況等々、常に状況確認をする事ができます。透析施行

状況に大きな変化や機器の不備を感じた場合、アラームを発生し自動停止し危険を防ぎます。

患者監視装置に供給される透析液は機械室にて作成されています。逆浸透圧装置により精製された透析用水を多人数用透析液供給装置により電解質液2剤（A液・B液）と混合し、指定された濃度に調合し各患者監視装置へと送液されています。

透析終了後は透析液供給装置から患者監視装置まで毎回洗浄消毒され、次の透析に備えます。

現在当法人では篠路はまなすクリニックにて7月ごろに、コンピュータにより患者監視装置、及び透析関連機器を一括に管理するシステム、透析業務支援システムの導入の計画が進んでおります。システムの導入により、業務の効率化及び質の維持向上を目指し患者様には更に安全で快適な透析医療を受けていただける事となります。



医術の表象 アスクレピオスの杖

昨年の春、オリジナルデザインの壁かけ時計を頂戴した。篠路はまなすクリニックの新築開院にあたって、建築会社の設計士さんからプレゼントされたもので、直径40センチほどの光沢のある金属製の文字盤に特異な紋章があしらわれている。翼のついた棒状の物体に二匹の蛇が絡みついたその紋章は「カドゥケウス」というネーミングを持つギリシャ神話の神の杖を図案化したものだ。主神ゼウスの伝令の役目をなう神の象徴とされ、十二神の一人であるヘルメスが手にする姿は西洋美術のモチーフにもなった。



商業の象徴・カドゥケウス



はまなすエンブレム

贈呈された
オリジナルデザインの時計

ヘルメスの像

ヘルメスは多面的な性格を持っているが、とりわけ商人の守護者であった。このことから彼が手にしているカドゥケウスは後の世に商業関係の表象に取り入れられるようになり、日本でも一橋大学などの多くの商業学校の校章に見ることができる。

一橋大学
(旧制東京商科大学)の校章

一方、医の象徴には「アスクレピオスの杖」がある。神話の中でアスクレピオスは死者をもよみがえらせるといふ名医であった。手にする杖には一匹の大蛇 (serpent) が巻き付いている。(ヘビはキリスト教の聖書の中で狡猾なものとして扱われているようだが、聖書より以前のギリシャ時代には大地の力を表すものと考えられていた) アスクレピオスの杖はWHO(世界保健機関)のロゴマークに見られるほか、「スター・オブ・ライフ」にとりいれられ救急車のボデーにも描かれている。

WHO(世界保健機関)の
ロゴマーク医術の表象
アスクレピオスの杖

スター・オブ・ライフ

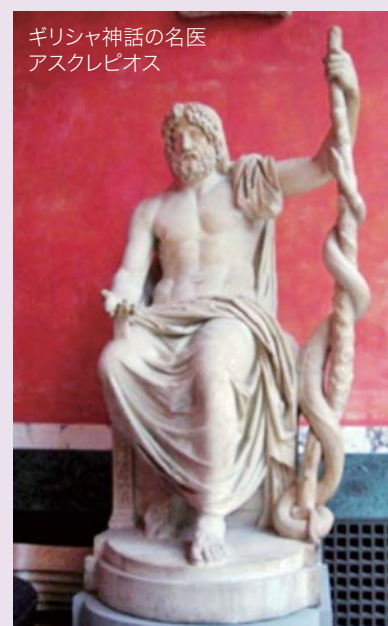
スイスの救急車に描かれた
スター・オブ・ライフ

しかるに杖に蛇が巻き付くという点が類似するためか、ときに誤って医療機関のロゴマークにカドゥケウスが印されていることがある。ケチをつけるようでありが悪いが、せっかく頂戴した時計にも描かれるべきはカドゥケウスではなくアスクレピオスが正しいのである。

アメリカ陸軍医療部隊のバッジ
(誤って用いられたカドゥケウスの例)

医は仁術であり、商業の神の表象はなじまない。だが神話の時代はいざ知らず、現代において採算の取れない医療経営は困りものである。贈ってもらったカドゥケウスの時計は算術にうとい私に対しヘルメスにあやかるようにとの励ましかもしれない。心して末永く私の部屋に飾らせていただこうと思う。

死者をよみがえらせたアスクレピオスは「世界の秩序を乱す」として冥界の王ハデスの怒りに触れる。ハデスの訴えを受けたゼウスは雷霆によってこの究極の名医の命を絶つ。死後は神にまつられ、へびつかい座として天空に掲げられたという。今日、心肺停止における救急蘇生は死者を呼び戻し、透析医療もまた多くの患者から死を遠ざけている。IPS細胞の登場によって冥界への距離はさらに遠のいていくだろう。死者をよみがえらせるアスクレピオスの医術が、時空をこえて現代の医療に受け継がれているように思うのは穿ちすぎだろうか。

ギリシャ神話の名医
アスクレピオス

この人紹介

はまなす医院 厨房職員 大塚和子さん



Q 出身地はどこですか？

A 苫小牧です。20年ほど前に石狩に来ましたが今だに雪には慣れていません。

Q 趣味や特技は何ですか？

A オリジナルの料理を考えて食べるのが楽しみです。今はタイ風の料理に挑戦しています。

Q 当院の印象はいかがですか？

A 職員の皆様が一丸となって患者様を治療・サポートして下さると思います。

Q 仕事をされていて大変なことは？

A 一人ですべてのことをやらなければいけないので一日中緊張している所です。

Q 最後に一言お願いします。

A 心を込めた食事作りでこれからも努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

これからもおいしい食事の提供宜しくお願いします。

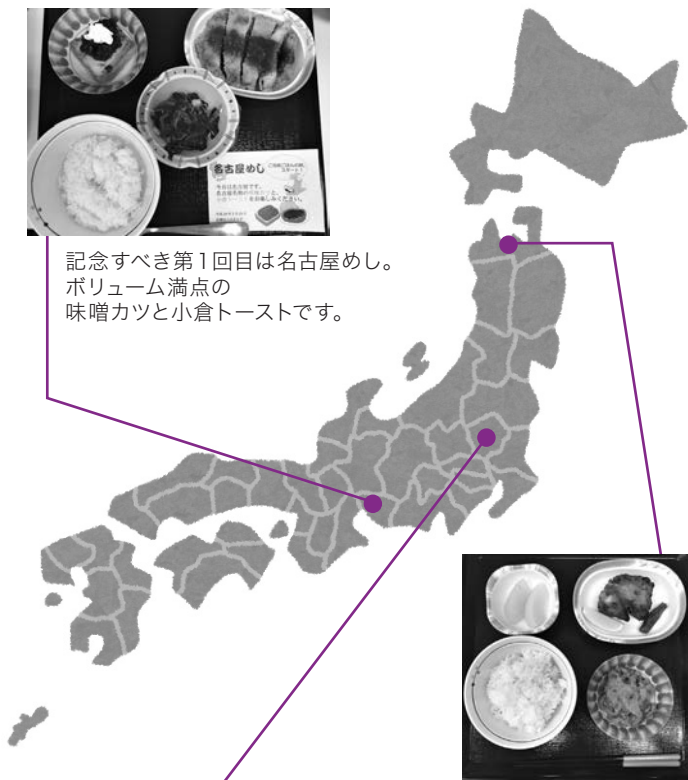
ご当地メニュー始めました！

2月より、新しい試みとして月1回、ご当地メニューの日を設立しました。これは、遠出の旅がなかなかしづらい患者様にもお食事で少しでも日本各地の風を感じ、楽しんでいただくことが出来たらという想いから始めました。私自身も献立を考える際、本当に様々な興味深い食文化があるものだなと感じます。今後も各地のグルメを順次紹介していきます。

(管理栄養士 牧野姫佳)



記念すべき第1回目は名古屋めし。ボリューム満点の味噌カツと小倉トーストです。



北海道新幹線開通を翌日に控え、まぐろ、りんごといった青森県の名産を献立に盛り込みました。



宇都宮名物の餃子と、春を感じられる苺のデザートです。

新年度 新入職者紹介



篠路はまなすクリニック
透析室 看護師

松原 均

2月から透析室に勤務しました。宜しくお願いします。



篠路はまなすクリニック
透析室 看護師

高橋 由香

3月より入社いたしました。安全で間違いのない様頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



篠路はまなすクリニック
透析室 看護師

喜多 祐輔

4月より入職しました。他施設含め透析室歴13年になりますが、初心を忘れず頑張りますので宜しくお願い致します。



篠路はまなすクリニック
臨床工学技士

岡本 桃子

4月から働くことになりました。これから1日でも早く仕事出来るよう精一杯頑張りたいと思うので宜しくお願いします。



篠路はまなすクリニック
臨床工学技士

白幡 真友

4月より入職致しました。皆様のお役に立てるように何事も一生懸命頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



篠路はまなすクリニック
庶務係・送迎ドライバー

水越 孝志

今年の1月に入社しました。安全運転に気を付けて頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



篠路はまなすクリニック
庶務係・送迎ドライバー

米陀 孝博

1月より入職させていただきしました。安全・安心をモットーに頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



篠路はまなすクリニック
庶務係・送迎ドライバー

長瀬 伸一

3月2日に入社いたしました。安全運転で頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



篠路はまなすクリニック
庶務係・送迎ドライバー

加藤 正徳

4月より入社しました。安全運転を心がけていきます。



篠路はまなすクリニック
厨房職員

定免 幸恵

5月より入職致しました。患者様、職員の皆様に美味しいと言って頂ける食事を提供したいと思っております。



はまなす医院
医療事務

小野沙也香

1月より入職しました。体を動かすことが好きで、空手を10年続けています。夢は家族と韓国旅行をすることです。まだまだ未熟ですが、1つでも多くのことを吸収できるよう何事も頑張りますので宜しくお願い致します。



はまなす医院
庶務係・送迎ドライバー

青木 純正

昨年7月から勤務していますが、いまだに未熟者ですのでこれからも安全第一に努め、精進していきますので宜しくお願い致します。



はまなす医院
庶務係・送迎ドライバー

小林 政男

3月より入職いたしました。先輩方の優しい指導にてなんとか慣れて来た所です。気配りし安全運転に徹して行くのが使命だと思っております。今後も宜しくお願い致します。

はまなす医院の増改築工事が始まりました

5月14日大安吉日、青天のもとで地鎮祭が行われました。
石狩の地に根付いて22年。
更なる地域のかかりつけ医として邁進します。



患者様に於かれましては工事期間中、
何かとご不便をお掛け致しますがご了承頂たく存じます。

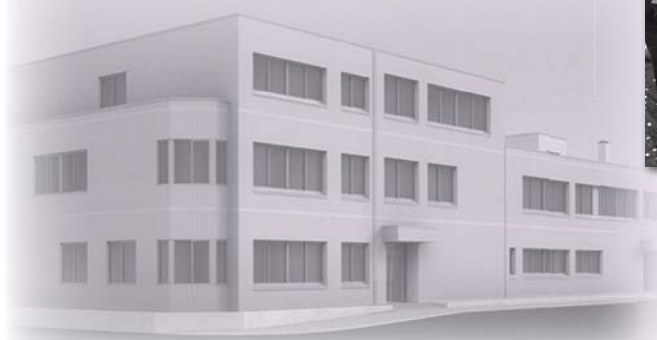
第1期工事(増築)

平成28年5月吉日～平成29年3月末

第2期工事(改修)

平成29年4月1日～平成29年9月末

設計会社／株式会社 石本建築設計事務所
施行会社／大木建設株式会社



篠路・石狩の駐車場が整備されました

今迄、5台分のスペースしかありませんでしたが、新たに外来入口前に10台分が増設され合計15台まで利用可能となりました。

今は、ブルーシートで覆われていますが5月の中旬には駐車場前の小山にも芝が張られる予定です。

篠路



駐車場がアスファルト舗装になり快適になりました。

石狩

Before



After



診療案内 (4月～)

篠路はまなすクリニック

☎(011)776-3030

科名	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	
一般外来	午前(9:00～12:00) ※受付12:00まで	工藤岳秋	工藤岳秋	工藤謙三	工藤岳秋	工藤岳秋	出張医	休診	
	午後(13:30～17:00) ※受付16:45まで	工藤岳秋	工藤岳秋	出張医	工藤岳秋	工藤岳秋	休診		
腎臓内科	午前(9:00～12:00) ※受付12:00まで		川島圭介			工藤立史			
	午後(13:30～17:00) ※受付16:45まで					工藤立史			
透 析	月・水・金	(一部) 9:00～14:00 (二部) 14:00～21:00		◆休診日/日曜日 祝日も外来診療を行っております (診療時間はお電話で確認をお願い致します。)					
	火・木・土	9:00～16:00							

はまなす医院

☎(0133)64-6622

科名	診療時間		月	火	水	木	金	土	日	
外 科 内 科	午前(9:30～12:00) ※受付12:00まで			工藤謙三	佐藤裕二		工藤謙三	横尾(第1・3) 神山(第2・4)	休診	
	午後(13:30～17:00) ※受付16:45まで			工藤謙三	佐藤裕二 (14:00まで)		工藤謙三	休診		
内 科	午前(9:00～12:00) ※受付12:00まで		工藤立史		工藤立史	工藤立史				
	午後(13:30～17:00) ※受付16:45まで		工藤立史		工藤立史	工藤立史				
透 析	月・水・金	(一部) 9:00～15:00	<患者様へお知らせ> ◆月・木曜日は午前9:00～9:30外科診療を行います(予約制) ◆火・金曜日に手術が入った場合、午後は外科から内科へ変更になることがあります 来院前にお電話でお問い合わせください							
		(二部) 13:00～17:00								
	火・木・土	9:00～15:00								

編集委員が交代します

【旧委員】 田宮、菅野、山口、馬場、樋口、高木

はまなす季刊は、年4回季刊誌として発行され、今回82号となりました。工藤謙三会長の監修のもと8名の委員によって構成されていました。一年間の任期を終え、4月から新メンバーでスタートしました。読者の方のお役に立つような記事、季節感あふれる内容のもの等、厳選して掲載していきたいと思ひます。新メンバーにつきましては、次号でご紹介します。(坂本維子)



3/31 編集委員慰労会
ガトーキングダムにて

スタッフ 歓迎会

4月2日(土)麻生ではまなす医院歓迎会(小野さん・青木さん)を行いました。総勢29名の参加者でした。立史院長の就任一周年をお祝いしてサプライズ演出もあり、大いに盛り上がりしました。



4月23日 ガトーキングダムにて 会長古希祝い 役職者親睦会

古希おめでとございませう。これから一層若々しくパワフルでいて下さい。

職員一同

編集後記

皆さんはご存知ですか?「健康寿命」のこと。健康寿命とは、健康で長生きすることですが、その為には「教育」と「教養」が必要なことを…。教育(今日行く)と教養(今日用がある)の駄洒落です。平均寿命と健康寿命の差は、「不健康な期間」を意味しています。因に北海道での

その差は、男性が8.3歳、女性が13.8歳となっています。今後、平均寿命の延伸に伴い、こうした健康寿命との差が拡大すれば、医療費や介護給付費の多くを消費する期間が増大することになります。皆さんも進んで「教育」と「教養」を日頃から身に着けましょうね! (T.S)